

2023. 5. 18.

葉山ブルー



今日、夫は念願の「餌やり」ができました。若いマリンスポーツ愛好家が誘ってくれました。彼のフィールド(?)である葉山の海、しかもボートで、釣りを満喫できるとは、なんという幸いでしょう。ペットボトルのお茶を持参して、出かけました。私はいつものようにアッシーです。

ライフジャケットを着て、裸足になって、釣り道具を持ってボートに乗り込む。そのボートをボート屋さんがロープで繋いで、ポイントと思しきブイのところまで運ぶ。ブイに繋いだら、ボート、釣り人を残す。約束の時間が着たら迎えに行く。というシステムになっています。

ボートに、バシャバシャと駆け寄り、乗り込んだが早いか、あっという間に、ボート屋さんは繋いだボートごと、出発していきました。「行ってらっしゃい」を言う暇もありませんでした。どんどん視界から消えてきました。かなり沖の方にポイントがあるようです。



この場所は、葉山の長者ヶ崎です。ここには私学共済の保養所があり、毎年夏休みには、お弁当を持って、そこのプールに孫たちを連れてきては、泳いだものです。プールで遊んだら、海岸で泳ぐ、また、プールに、と、水遊びを楽しみました。夫は海に来てプールとは、と呆れていました

が、何と言っても安心でした。それも、十年以上も前の話になってしまいました。一人浜辺に残った私は穏やかな青い海を眺め、緑の防風林沿いの白い砂浜沿いにしばらく歩きました。SUP(スタンドアップパドルボード)で海を滑っていた人が上がって来て、私のそばに立ったので、「なんでもきれいな海でしょう」と言いますと、「葉山の沖は冬にはもっと透明度が高く、『葉山ブルー』と言われていますよ」と教えてくれました。

